

【区役所企画事業】

番号	事業名	提案委員名	担当 (担当部会)	事業概要	対応（区の考え方）
1	引きこもり支援事業	佐々木彰治	健康福祉課 第2部会	【目的】 若年層の引きこもり者が交流や仕事を通じて、社会復帰を目的とする。 【内容】 南区内の引きこもりの実態調査を実施の後、発達障害などが原因で登校拒否や就労できず、引きこもっている若者に「交流の場」と「就労の場」を提供し、社会との接点を持ち、仕事ができる喜びや頼りにされる喜びを得て、社会復帰することを旨とする。 とりわけ、就労の場は農業従事者の高齢化や担い手不足等で課題を抱えている農業者への人材派遣を考えてはどうか。	【区づくり事業では実施しない】 引きこもりは本人の自覚が無かったり、家族が周囲に知られたいとすることを嫌ったりするため、支援の実施が難しいのが実態です。現在、市では相談業務を引きこもりの相談支援センターへ事業委託しておりますが、民間のネットワークを主体に行政も参加し、定例会を開催するなど取り組みを進めております。また、実態把握のアンケート結果から、相談支援センターの認知度がまだ低いことが分かりました。今後、本人・家族が相談できる環境づくりに向け、区としても相談先の紹介など、全市的な取り組みに合わせて対応していきます。まずは、引きこもりについて、「興味・関心」をもってもらうための周知・啓発が必要と考えています。
2	空き家等の庭木剪定・草刈り支援事業	佐々木彰治	区民生活課 健康福祉課 総務課 第1部会 第2部会	【目的】 地域の支え合いで自治会の困りごとを未然に防ぐことを目的とする。 【内容】 空き家や庭の管理ができなくなった一人暮らしなど「道路に枝が落ちて」「荒れ地にしているのがゴミが投げられる」等、区内のどの地域でも同様の困りごとがある。 所有者の責任のもと管理することが大前提であるが、「空き家の所有者と連絡が取れない」「要介護状態かつ経済的にも厳しく、管理ができない」などを理由に荒れていくことがある。除草剤や草刈り機の普及、燃料等を支援することにより、地域で支え合うことが出来な	【区づくり事業では実施しない】 空き家や空き地及び居住者のある住宅地など民有地の管理に係る費用はその所有者が負担すべき経費となります。しかし、空き家などの草木の管理について、地域でも非常に苦勞していることは承知していますので、個別に相談いただければ、できる範囲で所有者への働きかけを行っていきます。 また、地域包括ケアに係る自治会やコミ協の取組の中で、地域における助け合いの仕組みづくりを、区も支援していきたいと思
3	「南区ふれあい福祉マップ」作成事業	原 五郎	健康福祉課 第2部会	【目的】 障がいのある者にとっては、一人では自由に安心して外出しづらいことが多くあります。障がいのある者が意欲的に行動できるように、また、高齢者でも活用できるような情報をまとめた使いやすいマップがあればと思っております。 【内容】 障がいの3団体【南区身体障害者福祉協会・南区手をつなぐ育成会・南区肢体不自由児者父母の会】で立ち上げた「南区ふれあい福祉マップ作成委員会」で新潟県立大学国際地域学部 坂口淳教授から全面的な支援をいただき、南区のいろいろな情報をまとめた福祉マップを作成しています。今作成している内容は、障がいのある人たちの利用する内容として会員向けとなっています。しかし、委員会での作業は、専門的なものではないため、さらに内容を充実したものにして、一般区民でも活動できるように内容を見直しをし、行政機関等で配布できるようなマップにしたいと願って計画しました。 ◆事業年度 平成28年度 ◆事業課 健康福祉課 ◆事業費 250万円 ◆作成数 約2,000部	【区づくり事業で実施する】 ご提案の趣旨を踏まえ、作成目的、活用方法などをよく検討しながら作成していきたいと考えています。平成28年度は、関係団体等で組織する作成委員会を立ち上げ、作成手法や内容、利用方法などをワークショップ形式で検討していきます。
4	アグリパーク都市小中学生教育ファーム交流事業	高橋文子	産業振興課 第3部会	【目的】 南区の農業を守るために、将来の担い手を目指し、都会の子どもたちとの交流を図り、滞在型で体験できる内容とする。 【内容】 ・将来、担い手不足が予測される南区の農業です。南区内外の子どもたちで交流を図り、少しでも農業の大切さを知ってもらいたい。 ・農業を多少なりとも知っている地元の子どもたちと知らない都市部の子どもたちが交流しながら農業体験することで、お互いが農業の良さ・大切さを知ってもらう良い機会ではないかと考える。 ・子供の時の体験は将来の仕事として役立つのではないかと	【区づくり事業で実施する】 アグリパークでは、幼稚園や小・中学校向け、一般向けなど、子どもから大人まで幅広い年齢層の方が体験できるプログラムを用意しています。 園児・児童・生徒には、学習と農業体験を結び付けた農業体験学習「アグリ・スタディ・プログラム」を提供し、市内小・中学校から好評を得ており、毎日の様に利用いただいております。 まずは、区内の園児を最優先に農業の良さ・大切さを体験を通じ知っていただきたいと考え、バス料金を助成する「園児アグリパーク体験事業」を実施します。 将来の担い手育成は、すでに事業展開はされておりますが、都市部の子どもたちとの農業を通じた交流を図る場については、アグリパークに伝えてまいります。 参考 ・新飯田小学校以外の小学校は、「学校教育田」で米づくりを体験しています。
5	南区第九の合唱「歡喜の歌」	高橋文子	地域課 第3部会	【目的】 年末に南区民（学生から大人）が一堂に会し「歡喜の歌」を合唱する。 【内容】 南区民が一体となることができるのは何かと考え、合唱が一番やりやすいのではないかと考えました。歌の指導、演奏など大変かと思いましたが、一つの事を成しとげるといふ達成感を味わえられ、素晴らしいことだと思	【区づくり事業では実施しない】 平成20・21年度に区づくり事業で行った「区内合唱団（合唱同好会）合同音楽祭」の事業主体である南区区内で活動しているコーラスグループ3団体が集まった「ハーモニーネット」のような団体に働きかけるとともに、区民の皆様への気運の高まりを受けて、持続的な活動となる動きに合わせて支援をしていきたいと考えております。
6	未来創造教室	高橋文子	教育支援センター 第2部会	継続してもらいたい。	【区づくり事業で実施する】 継続して実施する。
7	中高生対象としての支援災害プロジェクト	小林加代子	総務課 第1部会	【内容】 子どもたちに集ってもらい、避難所の設置・手順・運営についての学習を行う。多くの学校が避難場所に指定されている場合が多く、その学校に通う子どもたちを対象とする。	【区づくり事業で実施する】 総務課で行う「災害に強いまちづくり事業」で実施する中学生防災教室で、地域の防災訓練で活動できるよう、避難所運営の基本的な内容を組み入れられるように学校と協議していきます。 併せて、学校へ地域の防災訓練に生徒の参加を促すよう要望していきます。
8	高齢者1人世帯の安心向上プロジェクト	小林加代子	健康福祉課 第2部会	【内容】 一人住まいの高齢者宅に救急隊員が到着した際、かかりつけ医・飲んでいる薬・病歴等、すぐに把握できるように冷蔵庫に内容を記入したものを置いておく。	【他の事業で実施済み】 ご提案の事業は「緊急情報キット配布事業」として、既に市社協が実施しています。南区社協でも地区社協からの要望を受けて配布をしています。配布には高齢者や障がい者等の一定の基準があります。また、希望者には300円でお譲りしています。
9	スポーツ施設の無料開放	田中容子	地域課 第3部会	【目的】 ・月に何日か体育館などを開放し、一般の人に利用してもらう。 ・ジュニアチームや中学生などの利用等は原則無料とし、選手強化や育成の充実を進める。	【既存制度で対応済み】 スポーツ施設の利用については、毎年体育の日には白根カルチャーセンターと白根屋内プールの個人利用者に、子供の日には白根屋内プールの利用者に無料開放しておりますし、小中学生に配布されているサタデーパスポートを提示（長期休業以外の土曜日）することで白根屋内プールと味方B&Gプールが無料となります。 スポーツ少年団（ジュニアチーム）の利用は学校の利用料金（学校行事・校舎改築を除く）と同じく半額となっております。 新潟市体育協会の加盟団体が行う選手強化事業に係る使用料は免除しております。